

吉川区 地域協議会だより

(第40号) 令和2年7月発行
発行 吉川区地域協議会
編集 たより編集委員会
事務局 吉川区総合事務所
総務・地域振興グループ
TEL 025-548-2311

吉川区への思い



会長 山岸 晃一（竹直）

日頃、地域協議会活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の関係で、5月に入って、初めての協議会が開催され、5期目の地域協議会会長に選任されました。かつてない異例の幕開けになった地域協議会ではありますが私なりに精一杯努めてまいりたいと思います。経済面でも皆さん苦勞されていると思われまますので、吉川区としての特色ある対応が必要で、地域活性化助成金も含め方策を考えて参りたいと思います。新任の委員4人を含め、12人で今後どこまで続くかわからない新型コロナウイルス感染症防止対応での活動ですが、知恵を出し合い地域活性化に向け頑張ってまいります。

就任にあたり



副会長 薄波 和夫（原之町）

この度、地域協議会委員として任命されたことにつきまして真に重責を認識しているところであり、今期で3期目となる委員として、心新たに責を全うすべく、地域のために議論、提言を進めて参る所存であります。地域協議会は地方自治法に基づき設置された機関で、市の諮問事項の答申組織ではありますが地域の様々な課題を自主的に審議し、地域のための課題解決策を見出す役割を担う、地域にとり大変重要な組織でもあります。この地を築いてくださった皆さんや、これからを築いてくださる皆さんとともに、様々な地、様々な世代の皆さんとともに、膝を交え、耳を傾け、声を交わし、この地のための、より身近な地域協議会となるよう努めて参りたいと考えております。これからの地域づくりは与えられるものでもなく、待っているだけでなく、地域が自ら考え、地域が自ら築く、それこそがこれからの地域づくりの要であり、地域協議会はその一翼を担う議論の場としてお役に立ちたいと考えております。

地域のつながり



副会長 佐藤 均（赤沢）

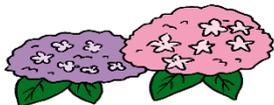
この度の改選で2期目の地域協議会委員の重責と緊張感を深く感じております。1期目の経験を生かし皆さんの声を聞き、使命感を持って務めさせていただきます。広域合併してから16年になります。いろんなところに問題山積です。生活基盤の強化が大事です、働き口の確保、通学、通勤の交通手段、県立柿崎病院の存続問題、食品、生活物資等の買い物難民です。過疎化、少子高齢化、価値観の多様化などで、私たちの地域のつながりが希薄になっています。住んでいるこの地域がより心豊かな所になるよう努めます。社会的資源が不備でも自然環境が豊か、その中で安心、安全な生活ができるよう、隣組、町内会、吉川区の結びつきを大切にしていきたいです。信頼関係が深まり、心温かい地域社会を共に考えていきたいと思ひます。地域の皆様の意見をお聞きし、発言されない方の思いを汲み取り、協議会への提言を進めます。

第5期吉川区地域協議会委員の活動がスタートしました。

新しい吉川区地域協議会委員の皆さんの抱負などをお知らせします。

(順不同)

(新委員の任期：令和2年4月29日～
令和6年4月28日)



明るい未来へ

五十嵐 豊 (六万部)

前期は頸北斎場や地域消防団・防災行政無線の件など、重要な審議案件が多く、あつと言う間の4年間でした。しかし、大半が行政側からの諮問事項や検討事項に対する協議であり、こちらから独自に提案する要望事項が少ない守りの協議が続いたように感じました。今期は吉川区をより明るく元気で住み良い街にするべく「これがしたい」「こうして欲しい」と言う提案型、いわゆる攻めの気持ちで協議・検討を重ね、少しずつ改善に導きながら、明るい未来に希望が持てる吉川づくりに努力していきたいと思えます。今後とも宜しくお願いいたします。

吉川に住み続ける一員として

江村 奈緒美 (河沢)

この度、委員を務めさせていただくことになりました。お話を頂いたときは「務まらない。できない」と思い、悩みました。正直にいうとお断りもしました。しかし最終的にお受けすることにしました。吉川に住んで27年、吉川はいい処です。住んでよかったと思っています。微力でも何かお役に立てればと思いました。子どもたちが小さいときの方が地域の役員などしていましたが現在の方がわからないことが多いです。皆様にご指導いただきながら務めたいと思えます。5月に初めて会議に参加した際に接した委員の皆さんの活発な意見交換に身が引き締まる思いです。

微力ではありますがよろしくお願い致します。

地域協議会委員として

大滝 健彦 (下小沢)

地区の推薦により3期目の委員を務めさせていただくこととなりました。今までの任期期間においては、まだまだ努力が足りなく、力不足だと反省するところです。何よりも大切なのは、吉川区の住民の皆様が「住みやすい」、楽しいことが生まれる所と思える場所をつくることだと思います。委員ができることは限られますが、皆様の声をお聞きしながら行政や関係団体等と連携を図り「温かく賑わいのある夢ある地域に」を目標に掲げ頑張っ

効 ご期待 ?

片桐 利男 (梶)

今期、地域協議会委員の任期中にやりたいことがあり、手を挙げました。吉川区は緑がいっぱいです。この自然の恵みから夢と力を戴きます。私達は、自然の恵みを見逃していませんか？春夏秋冬、知恵を出せば様々な恵みから夢が叶えます。その一つが米です。更に……。

ステップ1 構想、研究・たくさんの方から知恵や知識をお借りします。

ステップ2 試し・まずは試行です。

ステップ3 実行・吉川区に夢を広めます。

地域協議会委員を拝命して

関澤 義男 (大乘寺)

『吉川区地域協議会活動報告会』が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり心残りです。4期目は次世代担い手部長として大役を務められたことは、皆様の協力の賜物と感謝いたします。今『皆様が何を思い、何を求めていくかを聞くこと』から始める。少子高齢化、老人独居世帯、空き家対策、課題は山積しています。しかし魅力ある地域資源、人情に厚く誠実で故郷を想う人達こんな素晴らしい吉川区の活性化のため日々努力して参ります。

微力ですが精一杯、吉川区のために頑張ります。温かいご指導とご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

新任の挨拶

高野 幸夫(竹直)

地域からのお誘いもあり、今期より吉川区地域協議会委員を務めさせて頂く事になりました高野です。吉川区の地域の為の意見・要望を取りまとめ市政に伝えること、人口減少(世帯数減)・少子高齢化・一人世帯・介護が必要なお年寄り等々、課題が山積みなのが実態です。『若人が地元に住られる、又、帰って来たがる』地域づくりに、微力ではありますが吉川区の為に精一杯努力していきたいと思っております。これからも、勉強を重ね委員としての職務に当たりたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

地域協議会委員として

橋爪 正平(山直海)

今年度より地区の推薦もあり、地域協議会委員を務めさせて頂きたく思います。

会社勤めをやめ、5年が経ちました。束縛されず農業と付き合ってきましたが、地域協議会を通じて、新たな世界を勉強するつもりです。生き生きと生活できる環境を整えることができればよいなと考えます。こんな私に皆様からのご指導をお願いいたします。

2期目にあたって

中村 正三(山中)

異常な少雪と新型コロナウイルスで始まった今年度であります。吉川区においても様々な課題、問題があります。人口の減少、後継者の不足等々。しかし、そのような課題、問題もこの地で生活をしているからこそ一人一人が抱えているものなのです。解決策など簡単に見つかるものではありません。でも、解決するための努力は続けていかなければなりません。この吉川に住んでいる限りは。その一人として微力ながら活動してまいります。

就任あいさつ

平山 浩子(長峰)

この度、地域から推薦をいただき委員を務めさせて頂くことになりました。吉川に嫁いで20年以上。区外の職場に勤務して、ほとんど吉川のことを知らずに過ごしてきました。地域協議会の委員の仕事がどういったものかということもわからず大役を引き受けさせて頂きましたが、自然豊かで温かい吉川の皆様のお役に立てるよう、先輩委員の皆様にご指導いただき頑張りたいと思っております。よろしくお願いたします。



橋爪正平 江村奈緒美 高野幸夫 中村正三 大滝健彦 五十嵐豊
関澤義男 薄波和夫副会長 山岸晃一会長 佐藤均副会長 平山浩子 片桐利男

令和2年度 地域活動支援事業（吉川区） 採択事業一覧表

吉川区の配分額：5,600千円

（単位：千円）

No.	事業の名称	団体等の名称	事業費	交付決定額	事業内容
1	吉川三大枝垂れ桜を維持管理する事業	吉川三大枝垂れ桜を守る会	639	638	尾神にある枝垂れ桜の腐朽処置、土壌改良等を樹木医とともに行う。この事業により花木の延命、隆盛が図られ大勢の来客が見込めることから吉川区のPRとなる。
2	長峰城址保存活用事業	越後長峰城址保存会	718	700	長峰城址本丸遺構（南空堀含む）の整備と見学コースづくりを行う。また見学会の開催、遺構説明看板の設置、植栽等を行い、長峰城址の保護、保存をすることで地域の歴史への理解を深める。
3	県道バイパス安心安全パトロール事業	長峰町内会	259	259	防犯灯未設置箇所の解消や児童の見守り活動、危険箇所の点検パトロール等を行うことで、地域の安心安全を図る。
4	尾神地域資源振興事業	尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会	712	700	上越尾神J2カップ、新潟県知事杯の二大パラグライダー大会の開催に併せ、尾神そばイベントを開催することで、交流人口の増大や地域活性化を図る。
5	尾神岳山の上ライブ事業	吉川観光協会	708	700	吉川区のシンボルである尾神岳の山の上で音楽ライブを開催し、大自然の中で音楽文化を楽しむ新しい発見の機会を提供することで、吉川区の山岳観光をPRし地域振興を図る。
合 計			3,036	2,997	

（※ 配分額に対する残額：2,603千円）

地域活動支援事業を追加募集します！

令和2年度地域活動支援事業の当初募集を審査、採択した結果、上記のとおりとなりました。配分残額が2,603千円となりました。

については追加募集を行いますので、吉川区の課題解決に向けた提案がある場合は、総合事務所にご相談ください。詳しくは、別紙募集要項をご覧ください。

追加募集期間 6月29日（月）～7月17日（金）

【編集後記】

第5期吉川区地域協議会がスタートしました。委員数は前期より2名減の12名となりましたが、全員で協力しながら、より良い吉川区づくりに力を合わせ、取り組んでいく決意です。今期も地域住民の皆様方一人一人から要望や意見・課題等を多くお聞きし、共に考え、共に知恵を出し合いながら、「ここに住んで良かった」と思えるような、明るく元気で温かみのある吉川区づくりに取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いたします。

（第40号地域協議会だより編集委員 五十嵐豊、江村奈緒美、大滝健彦）